京城日報
朝刊 本日朝夕刊共六頁

定例次官會議

【東京電話】二十一日の定例次官會議は午前八時より首相官邸に開會、寺島遞信次官より本年度下期における電力需給狀況の豫想ならびに之に對する措置を說明し各省の協力を要望、ついで奧村情報局次長より抑留邦人に對する米國の非人道的取扱ひに關し米國政府の反省を促し米國民の公正なる判斷を要求するため對米放送で適切な措置を講へるとともに、十八ケ國語をもつて全世界に對し米國の非行を暴露しつゝある旨を報告

空の兩勇士に輝く個人感狀

緒戰に偉功・陸鷲の華 拔群の勳功に光榮

【東京電話】大東亞戰爭劈頭の作戰にあたつて、部隊長を失つたにも拘らず冷靜沈着、自ら部隊を指揮し曉雲豪雨の泰國上を長驅強襲、マレー緒戰の航空根據地擊滅戰、敵艦船攻擊に偉勳を樹て十二月十三日コタサランセムト附近に壯烈なる自爆を遂げた鍋山部隊中隊長堀田邦美大尉および同じく緒戰における山下兵團援護を完遂後マレー、スマトラの空に飛んで、常に一擊必殺の銃砲火により驚異的な航空戰果をあげ、二月十三日遂にパレンバン飛行場攻擊に壯烈な華と散つた軍神加藤飛行部隊の國井正文中尉に對しては、さきにマレー方面陸軍航空部隊最高指揮官よりそれぞれ感狀が授與せられたが、さらにこの程その武功が畏くも上聞に達せられた旨、二十一日陸軍省より發表された【寫眞=堀田邦美大尉(上)と國井正文中尉】

陸軍省發表(九月二十一日午後四時) 馬來航空作戰に飛行部隊長代理として拔群の武功を樹てたる陸軍大尉堀田邦美ならびに加藤部隊編隊長として每戰偉勳を重ねたる陸軍中尉國井正文に對しさきに同方面陸軍航空部隊最高指揮官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

感狀

鍋山部隊中隊長 陸軍大尉 堀田邦美

右は大東亞戰爭劈頭の集中に方り部隊長を喪ひしのち、部隊を指揮して南部佛印及泰國に展開し、北部英領馬來の敵飛行場攻擊を命ぜらるるや十二月八日率先勇躍陣頭にたち、未明より長驅挺進、曉雲豪雨を衝き二次にわたり渡洋攻擊を敢行し、敵航空根據地を襲ひ、以て敵機を寒からしめ爾後九日以後これを反復して敵航空根據地を爆碎せり

十二月十二日ペナン島攻擊の命をうくるや部隊を率ゐて出動し勇猛果敢敵艦船を攻擊して之を爆碎し多大の戰果を擧げたるも、十三日再び敵艦船攻擊中、優勢なる敵戰鬪機の攻擊をうけ戰機克く勇戰奮鬪せしが、遂に敵彈のため、乘機に火を發しコタサランセムト附近敵地上部隊に向ひ突進し壯烈なる自爆を遂ぐ

大尉は平素より沈着豪膽率先陣頭にたちて衆望歸向の中心たり、右英領馬來の航空擊滅戰、將又ペナン島附近の戰鬪に示せる勇戰敢鬪は洵にこれが發露にほかならず、その武功は拔群にして行動は軍人の龜鑑とするに足る

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年四月十四日

馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官

感狀

加藤飛行部隊 陸軍中尉 國井正文

右は大東亞戰爭の劈頭、編隊長として夜暗と惡天候とを克服して至難なる船團援護の任務を完遂し、以て軍の作戰に寄與せしところ頗る大なりしのみならず、爾來二月十三日パレンバン飛行場攻擊に戰死するまで常に率先戰局にたち、勇猛果敢敵に當り、或は熾烈なる敵火を冒して對地銃擊を敢行し、或は空中に捕捉して一擊必殺の銃砲火を浴びせ以て多數の敵機を擊滅せり、是その優秀なる技能と卓拔なる機眼とによること固よりなるも、中尉の烈々たる攻擊精神と生死を超越せる責任觀念に基づくものにして、眞に空中戰士の龜鑑とすべくその武功は拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年四月廿九日

馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官

敵基地を虱潰し 常に難局に 堀田大尉

鍋山飛行部隊中隊長堀田邦美大尉の戰鬪經過は左のごとくである

開戰劈頭の擊滅戰

開戰劈頭鍋山部隊長を失つたので堀田大尉は部隊長代理として指揮に當り、常に進んで難局に立ち上級部隊長の意圖のごとく完全に部隊の任務を果した、十二月八日還隊部隊長の命令により夜明けを期してケランタン州クアラベスト飛行場の敵航空勢力擊滅の任務につき、堀田大尉は〇〇機を率ゐて午前六時三十分豪雨を衝いて出發、この時豪雨により飛行場の狀態は非常に惡化してゐたがこれを克服し、またタイ國の惡天候を縫ふやうに飛行してクアラベスト飛行場を急襲、熾烈な敵の對空銃砲火を冒して低空に急降下爆擊をなし附屬設備を破壞、中型の敵飛行機を爆碎、同日基地に歸つたが敵をして對應の遑なからしめるため第二次爆擊を決行、ますく惡化せるタイ國の曉雲豪雨を衝いて〇〇機をもつて再度渡洋爆擊を敢行、午後四時四十五分クアラベスト飛行場を低空から急襲、附屬設備、滑走路を爆碎、かつ一機を炎上、三機を擊破したのであつた、十二月九日以後はコタバル、クアラベスト飛行場を反復攻擊しわが輸送船團をしばく攻擊して來た敵航空機の基地を覆滅して敵機を寒からしめ遂にケランタン州に於ける敵の空軍基地を擊滅制空權を獲得した

ペナン島附近攻擊

十二月十二日ペナン島攻擊の命を受けるや十數機をもつてペナン港にある敵船舶を攻擊し、午後零時五十分から同一時四十分まで敵驅逐艦よりの猛射を冒しながら急降下爆擊を敢行、一千トン級汽船三隻に對し直擊彈を命中させ多大の損害を與へ、翌十三日還隊飛行部隊はさらに主力をもつてペナン島附近の敵船舶の攻擊を續行したがこのとき堀田大尉は數機を率ゐ午前九時五十分出發、ペナン港にある敵の船舶を求めて猛攻を加へ六千トン級汽船一隻に直擊彈を命中させた、折しも、敵戰鬪機五機が攻擊し來つたので、大尉は一機をもつてこれと交戰したが愛機は無念にも火を發したのでアロールスター東南約二十キロのコタサランセムト附近にゐた敵地上部隊に突進自爆、壯烈な最期を遂げたのであつた

行く處一擊必殺 部隊景仰の的國井中尉

開戰とともに編隊長として山下兵團の輸送援護に當り、夜暗と惡天候を克服任務を完遂した國井中尉は息つく間もなく十二月九日ペナン方面の攻擊に參加、大膽なる低空攻擊によつて同地飛行場にあつた四機を炎上せしめた、この日、中尉の屬する飛行中隊の戰果は擊破炎上七機に及んだが、同中尉はその半數以上の戰果を擧げたのである、また廿二日クアラルンプール飛行場攻擊に當つても中隊戰果擊墜破五機のうち同中尉の戰果は三機に達し、さらに廿五日雉井部隊など爆擊隊のラングーン攻擊の際これに協力、同中尉は僅か二機をもつて敵戰鬪機十二機と交戰、同中尉のみの戰果は又も擊墜破三機におよび、越えて一月十七日戰爆連合のシンガポール島攻擊に當つては編隊長としてシンガポール上空を完全に制壓、爆擊隊の任務終了とともにジョホール水道上空に至りコンソリテーテツド飛行艇を發見、機を逸せず低空に降下して對地攻擊を敢行、中尉のみで三機を炎上せしめ一機を擊破して歸還、翌十八日さらにシンガポール市西南地區上空を制壓中又も敵機を發見、中尉はバツハロー二機を擊墜、廿六日パレンバン飛行場攻擊に參加、視界不良の惡天候にも拘らず敵機二機を擊破、翌廿七日再びパレンバンに進入、七回にわたる對地攻擊を行つて五機炎上、三機擊墜破の赫々たる戰果を擧げ行くところつねに一擊必殺の卓拔な技能とその攻擊精神は部隊景仰の的となつたが、二月十三日第四次パレンバン飛行場攻擊に參加同飛行場上空に進入するや上昇し來つた敵機ホーカーハリケン機を發見、直ちに第一擊を浴せさらに敵を求めて攻擊中、不幸敵彈を愛機に浴びつひに壯烈な自爆を遂げた

社說 グルーの所謂天國說

一

日米交換船で歸還したグルー前駐日米大使以下歸還新聞記者達が異口同音に日本の戰力を稱へ、その恐るべきを強調してゐる。戰爭豫算七百億弗といふ膨大な數字や、自己陶醉の訛文にも似た宣傳に欺瞞されて漸く戰意を保つて來てゐる米國々民達は、今さらどんな氣持で戰爭の成行を見てゐるのだらうか。桐一葉まことに、秋の新聞に相應しい世界の悲歎場である。

二

グルーは、在日十年の觀察から割出して『日本人は全く參らぬ人間である』と斷定、更にそれを補足して『日本人はたとひ敗北が迫つて來ても、精神的、心理的、經濟的に崩壞することはないであらう、日本人はさらに緊褌一番、一杯の飯を半杯にしても戰ひ拔くであらう』……と喝破してゐる。蓋し切言であり、我々は米國々民のため、彼が一年前、何故この言を與へなかつたかを惜しむものである。

三

グルーはまた『日本はまづ米國の需要中心地を爆擊し、續いて米本土に進攻して最後にホワイトハウスに進駐する迄鉾を收めぬであらう』——と日本の戰意を強調した後、希望的意見として『第一に日本の占領地域を各個擊破し、第二に日本海軍、商船及び航空力を順次破壞して日本々土を孤立させ、最後にこれが一擊に進むことである』——と夢言してゐる。固より夢言であり、その言葉には泡沫の希望をも宿してゐない。その證據には『日本軍が威信を失墜するのを希望するのは、この世で天國を待つに等しい』——と、日本恐るべしとする自己の觀察に對し、最上級の終止符を打つてゐるのである。

四

歸還新聞記者達の言葉を綜合すると『日本占領地の奪還は陸上に基地を獲得しない限り夢である』——と斷じ、若し萬一奪還し得る可能性を無理に見出さうとするならば、歐洲の戰局が好轉して米國が太平洋に全力を集中することが出來、日本を防禦の側に回させしめることだ——と述べてゐる。固よりグルーの天國說を出ないものであつて、彼等が如何に盲目と雖も、歐洲における英ソの形勢を見逃してゐる譯はあるまい。寧ろ彼等が〃陸上に基地を獲得しない限り〃——と切言してゐることは、米當局の重慶擁護机上大計畫に對する痛烈なる示唆とさへ受取れぬでもない。

五

何れにしても米國は昏迷し、焦躁して、なすところを知らない。彼等自身の口で『太平洋の平和回復は日本に降伏する以外術なし』……と率直に認めようとしてゐることに全世界は刮目すべきである。

ピブン首相令息歸る

【バンコツク廿一日同盟】去る十六日日英交換船龍田丸で昭南に歸着した前駐英泰國公使プラ・マヌベチヤー氏、ピブン首相令息プラソン・キツタサンカ中尉など四十二名の泰國外交官一行は日本軍政當局の好意により、廿日午前一時泰領ハヂヤイ着同地より特別列車で廿一日午後一時半バンコツクに到着した

塹壕を跳び越え進擊する獨自動自轉車隊……(電送)

敵十二個師を殲滅す

浙贛作戰 五ケ月の綜合戰果

【浙江〇〇基地廿一日同盟】さきの浙贛作戰において東方より進擊したる浙江省方面作戰軍の綜合戰果に關し中支軍當局より廿一日左の如く發表された

中支軍當局談(廿一日午後二時)

今次浙贛作戰において東方より進擊したる浙江省方面作戰軍の綜合戰果左の如し(五月十五日より八月十八日まで)作戰期間約五ケ月(進攻期間約一月半)

交戰兵力 約卅個師、敵損害潰滅したる兵團五個師、大打擊を與へたる兵團七個師、小打擊を與へたる兵團十八個師

交戰地域 浙贛平地約二千萬平方キロ、戰場縱深距離最長部約一千キロ(破壞したる飛行場施設を含む)玉山、衢州、廣信、[illegible]、麗水、溫州 破壞したる軍橋大小約五百、浙贛鐵道(軌條施設)の大部分撤收爆破したるトーチカ約千五百 潰滅したる敵軍需倉庫約三十

綜合戰果 敵側戰死二萬三千七十九、俘虜八千二百九十二、鹵獲品各種野山砲九十二、各種砲彈五萬四千七百六十八、および九百六十九箱、重機百五十九、輕機四百、機關銃彈三十一萬四千六百六十八および二百箱、小銃九千三百六十八、同彈(含む拳銃彈)四十八萬一千百五十六および三十四箱、拳銃百八十二、爆彈二千四百三十、地雷二千六百八十三、手榴彈二十萬七千十四および十九箱、その他兵器、通信機材、運輸施設、燃料、鑛石など軍需物資はきはめて多數、わが損害戰死および戰病死百六十一

八月十九日戰線整理開始以來九月廿日迄に判明したる戰果左の如し 敵側戰死四百六十九、俘虜七十一(鹵獲品)速射砲一、重機二、輕機十二、小銃百八十六、同彈八千九百廿八、拳銃十五、わが損害戰死九

敵の企圖を擊碎 わが戰略態勢確立

作戰軍幕僚談

【浙江〇〇基地廿一日同盟】中支軍當局では廿一日浙贛作戰における浙江省方面作戰軍の綜合戰果を發表したが、右に關し浙江省方面作戰軍幕僚は大要左のごとき談話を發表した

今次浙贛作戰中浙江省方面作戰軍の行つた主要作戰は東陽河流域殲滅戰、金華會戰、衢州會戰、上饒攻略戰、麗溫作戰、浙贛打通作戰、松陽遂昌作戰と最後に伸張した大戰線の整理作戰と前後五ケ月にわたる大作戰の連續に終始したのである、しかも今次作戰は大洪水といふ大自然の障害にまたつゞいて襲つた猛暑とゝもに將兵の勞苦は言語に絶したのである、洪水と猛暑が今次作戰の一つの特徵であるとゝもにこの大作戰中作戰全期間を通じてあらゆる物資にわたり百パーセントに近い自給自足のもとにおいて敵第三戰區を根柢より覆滅し再起不能に陥らしめたことは銘記さるべきである、いまやわが軍は所期の目的を完全に達し新占領地域を占有奪取するとともに隨時隨所に敵の企圖を擊碎する戰略態勢を完成した

行政簡素化案 けふ初の審査委員會

【東京電話】政府が十月一日を目標に實施せんとする中央、地方、作業各廳を通ずる行政簡素化案はすでに樞府に御諮詢下審査も終了久保田審査委員長以下八委員の間で檢討を遂げてゐたが、いよく廿二日午後一時半より樞府事務所で第一回の審査委員會を開催、本格的審議を開始することとなつたすなはち樞府側原、鈴木正副議長久保田委員長以下各委員、堀江書記官長、政府側は東條首相兼陸相ほか關係閣僚、森山法制局長官以下各關係官出席、まづ東條首相より大東亞建設の現段階に照應する南方軍政要員の充足、これに伴ふ行政機構の改廢、官吏の待遇改善を內容とする劃期的行政簡素化案につき提案の理由趣旨ならびに政府の根本方針を說明、關係閣僚および森山長官より具體的內容を說明して直ちに總括的質疑を開始、順次逐條審議に入るものとみられてゐるが、案の內容は極めて重要かつ膨大であるがいづれも國家的要請にもとづくものだけに樞府の協力迅速の審議が期待されてゐる

大東亞省官制案は別途審査委員會へ

【東京電話】政府は行政簡素化案についで大東亞省官制案ならびに內外地行政の一元化に伴ふ改正勅令案をさきの閣議で決定、樞府の御諮詢を奏請御下げ渡しとなつたが、樞府では本案の重大性と政府が行政簡素化と同樣十月一日の實施を目標としてゐる事情にかんがみ、簡素化案の委員會に併託せず別立の審査委員會を設けて審議の慎重と迅速を期することとなつた、しかして右大東亞省官制案の審査委員は一兩日中に原議長より指名され簡素化案と併行して審議が開始されるものと見られてゐる

空の軍神陸軍葬 けふ東京築地本願寺で執行

【東京電話】ビルマ戰線に散つた空の軍神加藤建夫少將の陸軍葬儀は全國民哀悼の裡に秋氣一入身にしみる廿二日午後一時から築地本願寺で嚴かに執行される、神鷲加藤少將の遺骨は午後零時四十分航空本部奧田中尉が捧持して中野區鷺ノ宮の軍神の家を出發し、同一時半西本願寺の祭壇に安置されいよく二時から葬儀に移るが、祭主は陸軍航空士官學校長木下中將、葬儀委員長は航空總監部總務部長河邊虎四郎中將となり、また在京の陸軍各官衙、學校、部隊の代表者將校も參列し眞に陸軍葬ともいふべき盛儀で、西本願寺大谷光照法主導師のもとに執り行はれる

內外地鐵道行政の一元化 鐵道協會建議

【東京電話】帝國鐵道協會では廿一日本部にて理事會を開き大東亞省の設置を機として大東亞における鐵道政策の樹立および運營に對する指導監督は鐵道大臣の統轄下に一元化すべき旨を決議、東條首相、陸海軍兩相はじめ內務、遞信、鐵道、拓務各相ならびに企畫院、對滿事務局、興亞院各總裁宛左記二項目より成る建議書を提出した

第一 朝鮮總督府、臺灣總督府および樺太廳の鐵道に對する根本的方策または基礎的政策などの樹立に對しては鐵道大臣統轄の下に一元化するの方針により適宜對策を講ぜられたきこと

第二 大東亞地域(內地、朝鮮、臺灣および樺太を除く)における鐵道に關する諸般の根本的方策または企畫の樹立などに當りては特にこれが一元化を企圖するとともに交通の特異性に鑑み、所管大臣は鐵道大臣と緊密なる連絡協調をはかる方針の下に適宜の施策を講ぜられたきこと

井野兼攝拓相 青木國務相らと要談

【東京電話】井野兼攝拓相は廿一日午後四時首相官邸に青木國務相ならびに星野書記官長を訪問、大東亞省設置に關し約一時間に亘り要談、同五時十分辭去した

米陸軍 一千萬に擴充

【リスボン廿日同盟】米軍當局は來年末までに米國の兵員擴充一千萬を目標に計畫を進めてゐるが廿日ロイター通信ロンドン電によれば米徵兵局長官ハースレーは右具體的方法に關し次の通り言明した

一九四三年末までには一千萬人以上の米市民を武裝する計畫でそのためにはまづ獨身男子の徵用は本年秋までに完了し、本年十二月もしくは來年一月には子供を持たぬ男子の徵募を開始するはずである、米陸軍の兵力だけでも本年末までには四百五十萬を超える豫定だ

人

◇市川猿之助氏 廿一日挨拶のため本社來訪
◇市川段四郎氏 同上
◇守田勘彌氏 同上

南北居

米國上院民主黨の一領袖が產業總動員計畫なるものを近く上院に提案するといふニュースがある▲勿論これを上院、特に下院が採擇して、可決するかどうか頗る怪しいものがあるが▲デモクラシーの牙城にこの統制主義的強硬論が擡頭したといふことは凡ゆる意味で興味がある▲それほど米國は敗戰の影響が深刻であり、戰時經濟が行詰つたことを示すものだが▲この論の際後には來る十一月の大統領中間選擧を控へての政治工作的匂ひも多分にある▲しかし如何に巨大な經濟力をもつ米國でも▲戰時經濟の整備は自由主義的經濟の理論を受け入れないであらうし▲統制經濟の基本に立つ戰時經濟の必然性を無視出來ないのは當然である▲しかしこの產業總動員計畫が愈よ實施されることに決定したとしても▲自由主義觀念がたゞれ切つてゐる米國であればあるほど▲その切替が多くの時間と障害を必要とするだらう▲日本や獨逸の一糸亂れぬ統制經濟の運營が一朝一夕にして出來たものでないことがそれを裏書きする▲英國の學校ではレーニンやスターリンの著書を教科書に取入れてゐるといふが▲それにしても、又米國のこれにしてもその思想的轉向がこの際問題にならぬほど▲戰時の事態が凡ゆる部面で逼迫してゐるのだと解されてよからう

近づく朝鮮神宮奉賛の祭典

集ふ全鮮の若人二萬

廿四日 體育大會の火蓋

青年半島の意氣と熱情を結集する第十八回朝鮮神宮奉賛體育大會は廿四日午前九時から秋深き京城運動場に全鮮各地より選出された約二萬の青年男女選手を集めて競技の幕を切つて落すこととなつた、體位向上の國家的要請に應へさきに優選ともいへる各道奉賛體育大會から選出されて、この日晴れの運動場に征めのぼる各道選手約二千五百名、それに京畿道の約一萬五千名を集め錬成競技の華は絢爛として展開されるが、大會が體育振興會の手に一元化され、過去の〝競技〟から

〝體育〟に百八十度轉換してからの第一回大會であるだけに、競技、演技種目にも集團的戰時的色彩が斷然と目立ち男女學生一萬一千名の目を奪ふ集團體操、銃吊の氣野を破ふ一千名の銃劍道試合、遞信局員による二千五百名の職域體育など集團公開演技や特殊競技が若人の國家的自覺の中で火花を散らす筈で、朝鮮體育行事の最高峰〝神宮奉賛體育大會〟は半島國民體力の實力をここに遺憾なく發揮するものと期待される

陸鷲へ個人感状

孝心深い意志の人

榮譽に輝く故堀田大尉

【東京電話】武人最高の榮譽に輝く故堀田邦美大尉は三重、滋賀兩縣境に、ほど近い三重縣鈴鹿郡椿村字大野出身、支那事變勃發直後北支の空を席卷して敵陣の功を樹て、内地歸還後陸士敎官として若鷲の育成に専念したが、昨年四月には再度中支に出征、今次大東亞戰爭勃發と同時にマレー戰線に出動、千敵に轟る不滅の武勳を打ち樹てたのだつた、嚴父三郎氏（六〇）母堂たけのさん（五〇）が語る少年時代の故大尉は非常な無口で内氣者だつたが大の勉強家で中學時代、明治天皇の御製『いち早く進まむよりは怠るなまなびの道にたてるわらはべ』を日頃の信條として敎科書といふ敎科書の扉には必ずこの御製を謹寫し敎學に勵み終始級長で押し通した、また雨の日も風の日も毎日往復八里の路を五年間殆ど無缺席で通學したといふ鐵の如き意志の持主であつた、さらに孝心非常に厚く日曜日には缺かさず兩親に贈物をするのを唯一の樂しみにしてゐたといふ

開々たる鈴鹿連峰の峻嶮、入道嶽の懷ろに抱かれた生家はいま晩秋の上蔟に忙しく亡兄の後を繼いで、來る十二月晴れの入營を待ちわびる末弟正之君（二〇）と令妹みよのさん（一八）の二人が仲よく兩親を助けてゐて一種粒の遺兒晃ちゃん（三）を連れて目下同郡川崎村字川崎の近藤寛二氏宅に歸省中の故大尉夫人光子さん（二一）を訪ふと

主人はかねがね日本精神の研究に沒頭、眞の日本人になりきることを終生の念願としてをりましただけに今度の戰ひにも、きつと立派な最期を遂げてくれたことと信じてゐます、昨年十月九日晃が生れました時は、非常な喜びやうで『よき後繼者が出來たから、もうなにも思ひ殘すことはない、自分が戰死の曉は必ず俺の遺志を繼がせてくれ』と申し送つて參りました、日頃の主人の敎訓を志に刻んで、この子を立派に育てあげるため強く生き拔く覺悟でございますと健氣な覺悟を語るのだつた

溫厚で子煩惱

故國井中尉の母堂　感激を語る

【宇都宮電話】個人感状の榮に輝く陸鷲國井正文中尉は栃木縣那須郡親園村の出身太田原中學校を卒業後十九歳で現役を志願して滿洲部隊に入營、選拔されて所澤航空士官學校に入り卒業と同時に滿洲の空に活躍中大東亞戰爭勃發のため南方に出動加藤建夫少將の部下隊長としてマレー、ペナン、ラングーン、シンガポールの空において敵機多數を屠り不滅の殊勳を樹てたが、本年三月十三日午前十時半落下傘部隊の先陣を誘動中壯烈な戰死を遂げた、この武勳と榮ある個人感状に陸鷲中尉を生んだ親園村は國民學校をはじめ鄕里全體の名譽として鄕土擧げて感謝を捧げてゐる、中尉は五人兄妹の次男で現在生家には父謙氏（五七）母なつさん（五〇）と妹ゆきさん（二二）弟園國君（一八）がゐる、千代子未亡人（二七）は長女節子ちゃん（四つ）今年八月生れた長男正洋ちゃん（一）と同郡太田原町荒町に住み亡き夫の遺志をついで二人の遺兒を育てながら夫中尉の冥福を祈つてゐるが、千代子さんは亡き夫の榮譽に感激しながら語る

夫は子煩惱で今回あることを豫期してゐたのでせう、長男正洋の名も出征前につけて行きました、また出征に先立ち自分で戒名までつけてをりました、趣味は寫眞を少しやつてゐた位ですお酒は少し頂きましたが、煙草は喫みませんでした、感状を頂き眞に身に餘る光榮です、夫も地下で感泣してゐることでせう

親園村の生家を訪へば父謙氏は野良仕事に行つて不在、母なつさんは

一百姓の倅が名譽の感狀を頂いたのは倅が偉いからではありません、軍神となられた加藤部隊長や上官の御指導と部下の方々がお働き下すつたお蔭です、ただただ感謝感激のほかございません

と感謝の淚に咽んでゐた、また國井中尉の中學時代級友だつた太田原高女敎諭本澤正氏は中尉を次の如く語つた

中學時代の中尉は無口でおとなしかつた、しかし一旦事に當るとゝても熱心で研究を積み、見究めをつけねば止[illegible]

現地の實情視察に

女子開拓指導員の一行北上

[illegible]

第一回記者長期錬成會

退所式を擧行

【東京電話】日本新聞會の肝煎りで去る七月二十日結成された『第一回新聞記者中央長期錬成會』は酷暑の中を八ケ嶽農村修練道場で動鐵を揮ひあるひは清冽な五十鈴の流れに禊を行ひ心身兩面の錬錬に勵んだのち川崎市津田山修錬道場で新聞記者としての智的敎育を東京日本青年館で新聞の歷史と將來について新聞界權威者から講習をうけ六十四日間の錬成をこゝに全く終了、二十一日午前十一時から日本青年館で參加者四十六名の退所式を行つた、式は國民儀禮、訓練生に修了證書、小隊長として期間中訓練と指導に功勞あつた宇野[illegible]

雄大な構想に觸る

建國十周年式典參列の古市府尹歸城談

[illegible]

拔荷防止の名案を語る　上

最近頻發する輸送貨物の拔荷事故は物資の配給や物價の公定に大きな影響を及ぼすばかりでなく、我々の國民生活をも脅威なものとする經濟上、社會上の問題であるので、本社はこゝに一體荷拔きはどうして起きるか、その影響はどうか又これを防止するには一體どうしたらよいか、といつた問題を俎上にのせて直接關係のある當事者の方々に意見を聽いてみた、以下は座談會の要領である――

高田　只今から座談會に移ります、實は私ロボットでありまして拔荷といふ問題について何ら特別の知識をもつてゐるわけでもありませんが、新聞社がかういふ問題を司會するのが妥當だらうといふのでお引受けした次第であります、最近物資輸送の上で拔荷の事實が非常に多いといふことを聞き及んでゐますこれは恐らく物資の不足或は物資の配給統制と云つた一つの統制の副産物であると考へられますが、その拔荷の影響は非常に大きいものであらうと考へるのであります、經濟の上に及ぼす影響は勿論一つの社會問題としても取り上げてよからうと思ひます、勿論これが對策につきましては御當局や民間側關係者各位が既に十分對策を講じてをられること、思ひますけれども、なほ聊か不十分な點があるのではないかと思ふ、さういふやうな點につきまして、いろいろとお話を伺ひたいと思ひます、そこで一番先に最近の拔荷事故に就て數字的な統計でもあれば御發表願ひます

八木　あまり正確ぢやないかも知れませんが、今年の一月から八月までの、極重要なものとして關係各道から報告のあつたものだけをひろひ集めて見ますと、朝鮮運送關係の拔荷が七十一人、鐵道局關係が四十五人といふことになつてゐます、勿論報告のあつただけで、その外に實際行はれてゐるものは相當澤山になるのではないかと考へます

星出　只今八木課長から報告された數は何千円と言つた被害に對する檢擧者數で、百円、二百円と言つた被害の檢擧者數は[illegible]

服部　最近運送貨物の破損拔[illegible]入つてゐません

巧妙を極める手口

牽が多い仁川揚げ

責任の明確化が先決

[illegible]

大村益次郎劇

猿之助丈・感想を語る

[illegible]

苛酷、邦人の監禁日誌

[illegible]

京城版

恤兵獻金　桃花町一ノ五茂山男伊さんは大東亞戰爭勃發以來毎月かゝさず獻金してゐる奇特な人であるが、今月も去る十八日の滿洲事變記念日にあたり雲細ですがと三円五十五錢を陸軍恤兵金として龍山署に寄託した

▲＝京城府吉野町二丁目元國防婦人會吉野町分會では先般同分會解散に伴ひ殘餘金百三十九円三十九錢を二十日航空記念日に際し國防獻金として同分會長井ハナ子さんより一同を代表し、本社に寄託、京城府菊井町二一一兎山武雄氏は金百円を國防獻金として廿一日本社に寄託

築く"北部の樂園"
明朗、丸刈奬勵の理髮部も經營
京城府社會事業協會で　隣保館を引繼

府内東部方面の庶民階級の敎化指導機關として昭和十一年十一月開設以來六ケ年間隣保相助の實を擧げて來た府内新設町北部隣保館(館長森田盛三氏)は決戰體制下における社會事業の擴化擴充する必要性から、今般事業の一切を擧げて京城府社會事業協會に寄附することゝなり、今後協會では二萬三千八百円の建築物をそつくり受繼ぎ經營に當ることゝなつた

本館二階建一〇八坪、理髮部一八坪で事業として『學術講習』を行ひ百三十名に『國語講習』(金在細氏子弟國語全解と常用の實をあげてゐるほか『輕便理髮部』を設け、低廉な費用で丸刈を奬勵するほか夜間には『輕便診療』を行ふなど"北部の樂園"として庶民階級に大きな福音を齎すものである

引繼いだ夜間診療部

出來た戰勝塔型
靑葉校兒童構成體操に成功

廿日の日曜は快晴に惠まれて靑葉南山そのほか各府内國民學校の秋季體錬大會が催され各校共父兄の觀覽者で賑はつたが、その中でも靑葉校六年男子の演じた構成體操は、國民學校で最初に試みられた立體々操として衆目を惹いた

同校六年生の組立てたものは橋型、ピラミツト、塔型、戰勝塔型の四種であるが、國民學校兒童では無理とされてゐた構成體操がかくも簡單に征服されたことは國民學校の體育敎養に一部の轉換を示すものとして注視された

岩島靑葉校長は語る
構成體操は勿論國民學校の敎材にはないので本年は思ひ切つて中等校のものを取入れて試みました、やつてみると顯る成績がよかつたやうです、この體操は程度が高いので難かしいとされてゐたのですが、組立法は案外優しく六學年兒童でも樂にやりこなせました、これをやらせた目的は美しく描かれた肉體の健康色を美しい型で表現して兒童の審美眼を體育と共に養成するにあつたのです、今後も繼續してやらせます

【寫眞】＝靑葉校六年兒童の構成體操の立體美

赤誠擧る献金
廿一日　鍾路署受付

廿一日鍾路署に寄せられた國防獻金は次の通り

▲鍾路二丁目九中央基督敎青年會代表具家滋五十四円五十錢
▲社稷町　第三區三班長　米山禮根一円
▲寬勳町一〇〇玉川秀江六十一円五錢
▲公平町一六七東洋力士奉獻選手一同代表大山鳳在三十円

本社に寄託　▲＝廿一日午後四十歲位の内鮮婦人が本社を訪れ『主人の志願に消つて僅かですが、獻金して下さい』と五十円を寄託して名も告げず立去つた

新興滿洲文學 【1】
淺見淵

滿洲文學が初めて内地に紹介せられたのは、大内隆雄譯の滿人作家選集『原野』である。今年は滿洲建國十周年であるが、今から五六年前のことであつたらう。

滿人といへば直ぐ苦力(クウリイ)を聯想し、何か文化程度の低い人種のやうに思ひ込んでゐたところ『原野』に收められてゐる諸作品は、作者達がいづれも若いところから未熟さや藝術味の乏しさは流石に目につくものゝ、風土を異にした大陸小說の流れを汲む構成力の雄大さや、作中人物の濃厚さといつたものが特異で、内地の人々が滿洲文學に對して關心を持ちだしたのは、じつにこれがキツカケである。

一方、滿洲建國の基礎は急速に固まり、開拓團の陸續たる渡航と相俟つて、内地の人々の關心が俄に滿洲に向けられてゐた時だつたので、内地のジャーナリズムもいち早く滿洲文學を取上げるやうになつた。かくて先づ滿人作家の古丁を起用するに至つたが、これと同時に、滿洲に在つて小說を書いてゐる内地人にも目をつけはじめた。之が今日見る滿洲文學の隆盛をもたらした最々の始めである。

即ち内地のジャーナリズムが滿洲文學に對して厚意を見せはじめるや、それが刺戟になつて、滿人作家たちは協和の實を示すために日系作家たちは内地文壇に迎へられようとして、共に新興國家の活力に富んだ新奇な題材を摑まへて競ひたつたからだ。またその競走がおのづと滿洲文藝會なるものを結成させ、つひには全滿に日滿二千人の會員を擁するに至つたが、これが新しき作家を生む指車となつた。しかして、このやうに文學熱が高まると、今度は滿洲の新聞雜誌が遅ればせながら既成の作家たちを登用しだし、かくて滿洲文學の一層の隆盛を促す結果となつたのである。

ところで、いま現に活躍中の滿洲作家たちは、『偉大なる王(ワン)』『さはめく密林』の作者である白系ロシヤ人のバイコフを除いては、日滿作家共に殆どが建國以來創作活動をなしはじめた人々のみである。つまり滿洲文學は建國と同じ歷史しか持つてをらず、その點文字通り新興文學である。したがつて、作家たちもみな若い。殊に滿人作家側は若く、『原野』の作者で滿人作家の先輩である古丁にして卅四歲、近ごろ最も進出してゐる作家で、中央公論九月號にも『逝つた幽靈に降りて』といふ作品(この作品は失敗作である)を發表してゐる爵青の如きは僅に二十六歲である。

歌壇　吉井勇選

縁側に涼みつつゐるわが膝に甘え寄る子もすでに二人か　京城　草野新吉春

今宵亡き戰死の夫の在りし日の机に倚れば涙もなつかし　光州　南　正美

常になく心地よき日よ草取りに汗をながせし午後のひと時　同　岡野加代子

北漢の山の彼方に日は落ちてキヤンプの焚火あかあかと燃ゆ　同　日置　涼風

珊瑚海に從兄自爆を報じたる親しき文を幾度か讀む　光州　緒方　秀哉

食肉に"冬の構"へ

◇…涼しくなつてすき燒が重寶がられる季節となつたがサテさる一日から實施した家庭用肉類輪番購入票の効用はどんなものか

◇…大概どこの家庭でもこれは有難いと感謝されてゐる模樣だが廿一日發行の愛國班回報では食肉購入濟みになりましたら『その日の中に次番に迴し下さい、翌日廻しは次番者に迷惑をかけます、自分の番はその日に購入して下さい

◇…若し不用でしたら直ぐ次番に廻して下さい、愛國班長は購入票の輪番狀況によく注意して遲滯することのないやうにしていたゞきますと冬への構へを注意しました

街の慰問袋

闇の行商に斷
一味十數名送局

本町通を根城として靴全商道の發展を阻害する無許可行商人に對して本町署ではかねてから目をつけてゐたが、今回一齊に檢擧の方針をとり鍾路六ノ九七中山石允(三)以下十數名を一網打盡として廿一日企業許可令、價格等統制令違反として送局した

彼等の一味は互に連絡をとつてゴム細、ナフタリン、果物等を路傍で法外な高價で賣捌き、正しい配給機構を紊してゐたものである

町總代に呼掛る
企業許可令本町署で懇談

企業許可令による申告は總て町總代の證明を通じて警察に申告されることゝなつてゐるが、最近になつて町總代中には情實によつてこれを不正證明したむきも發見され、その中には警察犯處罰として送局された不良總代も發見されたので、幸ひ今日までさうした被疑者を出してゐない本町署でも、轉ばぬ先の杖のため近く『お互ひに注意しませう』と町總代に呼びかけることとなつたが、場合によつては警告を含めた懇談會も催す豫定となつてゐる

新孔德町總代決る

西部新孔德町會では廿日午後七時から銓衡委員會を開催して新總代に宮本晃氏を決定した

龍亭町會も決る　西部、龍亭町會ではさる十九日午後二時から同町會事務所において銓衡委員會を開催、新總代を金原明宅氏と決定した、なほ評議員は近く役員會を開催して決定する豫定である

勞務管理講演

黄金町鐘紡厚生課朝鮮出張所長別役雄久馬氏は勞務管理の趣旨徹底を圖る目的で廿一日午後一時から仁川公會堂で來鮮最初の講演會をひらいたが、當日は京畿道野田社會課長も講師として同行した

安達綠童氏

朝鮮俳壇の雄、綠童安達應一郎氏は眼底出血にて今春以來療養中のところ廿一日午前五時逝去、享年四十三、廿二日午後二時永登浦新吉町自宅出棺、三時同地西本願寺において告別式を執行する

…秋季體錬會…　壽松國民學校では廿二日午前八時半から同校庭において秋季體錬會を行ふ

"重雄さん！萬歲"
時局に咲く"轢り美談"

町會員ではないが永年お世話になつた土地主の子息の入營に全町をあげて轢り二旒を贈つたといふ話奉天商業町十三香川守行氏は現在旭町一ノ一三〇に五十數坪の空地を有してゐたが、事變と共にこれを無償で町の公共使用に供して協力してゐた、さる日同氏の子息重雄君が東京から入營すると聞いた同町六區の中村、北岡役員は『町會員ではないが同樣の待遇で見送つて欲しい』と神崎町總代に申出で忽ち二本の自書を送る祝入營旗が町と六區の名義で重雄君に贈られた

感激した父親香川氏は十九日旭町々會と同六區に宛て百円づつの寄附金を送附して來たが、香川氏の重ねての篤行には神崎總代以下全町民が感激した

細川幻華洞氏
近作の個人展

昭和十二年以來朝鮮とは特になじみの深い南畫聯盟の細川幻華洞畫伯が、またこの廿三日(水)から廿七日まで五日間丁子屋四階の畫廊で近作の個人展覽會を開くことになつたが、出陳は全部で三十二點に及ぶ筈である

その禪味を帶びた畫風といひ、俳趣の豐かな畫調といひ、自然に漂つたやうな純朴ななつかしさが、特に日本家屋の床の間や茶室趣味を呼び起させてくれるやうな獨特の境地を示し、いはゆる展覽會美術にあきたらぬ人に呼びかけるだらう

朝映の顏觸れ

發起人總會で決議の結果株式會社としての正式陣容を整へた朝鮮映畫製作株式會社の各課中半島映畫人側の顏觸れは第一次採用内定者から次の如く決定した

【演出課】安夕影外十名、内助手八名
【撮影課】技師瀨戸明、梁世雄、金井成一、技師補助手十一名
【宣傳課】課長金正革外三名
【脚本課】西龜元貞、大野眞一
【企畫課】徐光霽、許達
【製作課】(第一、第二綜合)第二課長河濟逸男、李載均外二名
【演技課】(男優)徐月影、獨銀麒、李錦龍、金漢、金一海外九名(女優)文藝峰、金素英、金信哉外五名
【技術課】錄音森田樹外五名、現像、編輯、裝置、照明十九名

不連續線
子供の群

電車が停つたので、人波を搔き分けく降りて來た。しかも、まだ續いて、何でもその子供の群は、男女合せて六人を超えてゐたと思つた。

車掌台の下に立つて、客の降りるのを待つてゐると、あとからく後いて、なかく終らない。

しびれを切らして待つてゐるのに、降りる客はまだ續いて、今度は、大人の股の下を潜るやうに、五つ位のエプロン姿の女の子が、

一番最後に降りた男の子が『車掌さん。子供はたゞだね』と、ニツと車掌に笑ひかけて、歩道の方へ駈けて行つた。

この頃の子供は、なる程、ちやつかりしてゐる。

文化だより

◇朝鮮文人協會常任幹事會　廿二日(火)午後四時半から長谷川町基督敎青年會館で開催

◇新映會撮影會　新聞、映畫關係人に一般文化人等も加はつて寫眞趣味 同好の『新映會』を結成、第一回の撮影會は來る廿七日(日)水原城壁めぐりを行ふ

婦人だより

☆梨花女專卒業式　文科、音樂科(第十七回)家事科(第十一回)保育科(第一回)二十五日(金)午前十時から同校で擧行

☆淑明女專第一回卒業式　廿六日(土)午前十時から擧行

☆女子醫專第一回卒業式　三十日(水)午後二時から擧行

"反時局本"を沒收
讀書界に吹込む新體制

京城のどこかにまだ潛き忘れられてゐる不健康な文學書を見つけ出してこれを根こそぎ刈り取つてしまはうといふ目的で廿一日本町署では早朝から東海林高等主任以下全高等係職員が管内の新舊書籍店を一齊檢索、正午までに歡派文書『江戶猥談』『戀愛革命』ほか自由主義時代に刊行された各種政治、經濟書廿餘册を發見即時沒收した

東京大相撲

【仁川】安藝、照國兩横綱以下一行二百餘名の仁川場所は清澄の好季二十四日松嶋町大廣場で華々しく行はれることになり、既に土俵地鎭祭も終つて着々準備が進められてゐるが、久し振りの大相撲來仁に好角家達の期待は嫌が上にも昂まり異常なる前人氣を博して豫約桟敷券も後わづかとなつて居る

事故

廿一日午前八時頃南大門通孝子町行館車八二號＝運轉手安村東國(三)＝が西小門町に差しかゝつた際、前方路線上に立止つた安岩町一一二吳寶珍(五六)を轢き倒し全治二ケ月の重傷を負はせた

ラジオ　廿二日

朝　六・三〇(大)農村青年に想ふ　京都帝大教授黑正巖▲九・〇〇『家庭と鍊成』大政翼賛會鍊成部長岩松五良▲一〇・〇〇幼兒の時間『ヨイ音樂、オマツリ』東京放送管絃樂團▲一一・〇〇國民學校放送『二年生の時間』お話『良雄さんの慰問文』白倉文作

晝　▲一・〇〇戰時女子青年常會1農繁期勤勞奉仕を語る2詩朗讀、3合唱▲二・〇〇故陸軍少將加藤建夫陸軍葬實況＝築地本願寺式場より中繼＝▲四・〇〇(城)國民學校放送『敎師の時間』神話敎材解說講座(六)『白兎・國引き』の取扱總督府編修官森田梧郎

夜　六・〇〇少國民の時間▲七・三〇(城)國體本義の透徹(二)『三大神勅と我が國體』總督府情報課長倉島至▲七・五〇戰時青年常會1話『航空と青年』航空局長官山田良秀2大日本航空青少年隊歌日本放送合唱團▲八・〇〇『私の歌謠集より』勝太郎ほか▲一〇・〇〇時報・今日の戰況とニュース

愛の赤道 【218】
竹田敏彥(作)　都竹伸一(繪)
二人の被害者(十六)

二郎は、さうした大尉の表情を怪訝な眼で見まもつてゐたが、大尉は、やつと、讀み終ると、おつと、酷く二郎の顏を見つめた。

『どうしたんだ』

二郎は訊ねずにゐられなかつた

『何でもないが、これを讀んで見たまへ』

原田の手紙を、そのまゝ二郎に示した。原田か一體何をいつてきて、こんなにも丸山を困惑させてゐるのか、二郎は不審に驅られて急いで書面に眼を走らせた。

拜啓　いつもながら御健勝、軍務に御精勵、邦家のため大慶の至りに存じます。

さて、毎々の御厚誼に甘えまして、またしても突然、かやうなお願ひ、誠に恐縮至極に存じますが、何卒生等一同の衷情を御賢察、宜しく御高配の程お願ひ申上げます。

それは他でもありませんが、同僚陽木佐智子さんに關することです。御承知の通り、縹みの兄は、過般在留同胞の犧牲として壯烈な最後を遂げ、その後御同僚の厚意、克彥の友情、そして先は御依頼まで讀んでゆくうちにも、二郎は、

一同を代表しまして、かくは厚顏ましくお願ひ申し上げる次第であります。

この件では豫め拜眉旣に御諒解のことと存じますので、同僚一同に無賴なお願ひではありますが、軍務御多繁の間げる次第です。切にお願ひ申上御盡力のほど、御同意一同斯樣に考へまして、御同意を得ますれば、一層円滑なる進捗を見るのではないかと、年御親交ある貴官の有力なお口添へを得ますれば、多年軍務にある大槻君ですから、目下存じます。つきましては、成功の報告をも加へ得ますれば、鎭上更に花を添へるかと存じます。

立の計畫もあり、旁々、その竣成式にこの報告をも加へ得ますれば、最近校内に、故克彥君の表彰記念碑建立の計畫もあり、

一同の希望であります。最近校内に、安心することかと、我等んなに安心することかと、しき希望の花を添へ、かつはどれば、恐らく同女の靈前にも、新せめて一言の口約でも得ますれば、總裁の御願ひでもありますのでの關係もあり、且、克彥君が臨

別の御盡力により、一度は内地へ引揚げましたが、今また再度來比して、あくまで亡兄の遺志を繼ぎ、南方文化開發のために健氣な努力をつくしてゐます。だが何分にも遠い異鄕にかよわき女性の獨身生活とて、その心許なさの程も思ひ遣られ、我々同僚一同、何とか此際適當の配偶をすすめて、この健氣な女性に酬い、且は、亡兄克彥氏の英靈をも安んぜしめんものと、校長初め寄々協議中でありましたが、幸ひにも此度、當同僚大槻二郎君、當地の勤務として來任一同心から歡迎の意を表すると共に、輙てお話申上げました通り、大槻君こそは、同女の亡兄克彥氏とは莫逆の友であり、長年居住をすらも共にして、同女とも兄妹同樣の信愛を結ばれた間柄でありまして、同君を措いて、他により以上の候補者は、恐らく絕無のことゝ信じます、累より現在召されて軍務にある同君に、今直ちに結婚などといふことは、申すも不謹愼なことではありますが、さうした從來

なほ心に燃える佐智子への愛情に一言一句、裂かれるやうな、胸の疼きに堪へかねるのだつた。彼は沸き狂ふ激情を、辛うじて抑へながら、しづかに手紙を疊んだ。

『どうだね』

待ちかねたやうに、大尉が呼びかけた。

新刊紹介

▲赤門文學(九月號)▲將棋世界(九月號)▲東方時報(第三百十四號)▲開拓(九月號二十錢、東京・麴町一ノ一九、滿洲移住協會)▲眞理(九月號)▲學鐙(九月號)▲海防(九月號)▲常會(九月號)▲石楠(九月號)▲良國民(九月號)▲朝鮮山林會報(九月號)▲魂(九月號)▲食糧經濟(九月號)▲謂演の友(第二百三號)▲航空記事(第一四〇號)▲朝鮮醫學會誌(八月號)▲朝鮮鑛業會誌(八月號)▲同盟旬報(八月卅日號)▲文獻報國(八月號)▲南方情勢(九月號)▲開拓協和(九月號)▲專大經濟新聞(第二百十五號)▲新作家(九月號)▲書齋(九月號)▲財機(九月號)▲生活(九月號)

（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可） 第一万二千五四三十九號

夕刊 京城日報

獨空軍北氷洋に出擊 艦船四十四隻を屠る

英大護送船團を粉碎

【ベルリン廿日同盟】獨軍司令部特別發表＝獨空軍は去る十三日有力なる英海軍の護衛の下に四十五隻よりなる大輸送船團を發見したので獨爆擊機隊ならびに潜水艦の一隊は折からの…を北氷洋上に捕捉、數日間にわたり激戰を交へた結果、獨爆擊機隊はそのうち商船廿五隻合計…しめた、さらに獨空軍は…驅逐艦一隻、哨戒艇一隻を擊沈、大破、驅逐艦一隻に火災…護送船團を擊退、商船五隻計二萬九千トンに魚雷を命中、さらに驅逐艦二隻に魚雷を命中…得なかつた、過去六日間に英國は商船卅八隻、廿七萬トンを喪失した、右のうちには油槽船…ける護送船團攻擊戰で沈沒を免れた僅かの英船中大部分は重大損傷を蒙つてゐる

地中海でも五隻

潜艦活躍

【ベルリン二十日同盟】獨軍司令部發表＝一、テリヨク河沿岸地區に作戰中の獨軍は果敢なる陣地による赤軍を敗退せしめた
一、スターリングラード地區では引つゞき激戰が行はれ北部より攻擊に出た赤軍を擊退した
一、ボロネジ地區でも赤軍はしばしば攻擊に出たが、獨軍はときに肉薄戰を演じつゝこれに多大の損害を與へて敗退せしめた
一、獨潜水艦は地中海において千二百トン級の商船一隻ならびに輸送船四隻を擊沈した
一、英爆擊機隊は十九日夜ミュンヘンその他ドイツ南部および西南部地區を空襲したが、獨夜間戰鬪機ならびに高射砲隊はうち十二機を擊墜した

米英、建艦に必死

【ストックホルム廿一日同盟】米英兩國は大東亞戰勃發以來、ハワイ海戰、マレー沖海戰をはじめとして南太平洋における數次の海戰で失つた艦艇の損失補充に必死となつて喪失艦艇の代艦建造に當つてゐるが、近頃米英當局は新艦艇の建造はすでに損失を補ふて餘りあると宣傳してゐるが、建艦狀況の綜合的な統計がないため、艦艇の具體的内容を推知することは出來ぬが、ロイター通信ワシントン電によれば、英海相アレキサンダーは廿日シエフイールドにおける演說において英國における建艦狀況につき次の通り述べた
英國海軍は過去三年三ケ月間において相當數の戰艦、航空母艦巡洋艦を喪失したが、爾來その補充と整備に全力を傾注してをり、殊に驅逐艦の建造は損失補充以上に出てゐる

米、産業動員を計畫

遂に脫ぐ民主々義の假面

【ストックホルム廿日同盟】米國戰時產業は當局機構の變動に拘らず所期の目標より遙に遲れてゐることは過般大統領ルーズベルトが議會に提出した第六次武器貸與報告書において米國の生產實績は戰時生產最大目標の半額を少し上廻つてゐる程度であると述べて國民一層の奮起を促した事實によつても明かであるが、廿日ロイター通信ニューヨーク電によれば、上院民主黨領袖リスター・ヒルは米國產業總動員法とも稱すべき法案の起草を了し、廿一日の上院に提案する段取りとなつた、法案は米國產業を人的、物的に總動員し戰時生產の急速進展を期するため大統領に必要なる措置をとる全權を附與しようとするもので骨子つぎの通り
一、大統領に對して米國產業に對する全般的動員の權限を附與する
一、大統領は右權限に基き米國における男女の行動、私有財產權に對して殆ど完全に近い統制を行ふ
一、同時に各產業組織設備施設の物的資源に對し統制を加へ得る
以上米國爲政者が民主主義の基本綱領を投げうつて國家產業動員を計畫するに至つたのは主として大東亞戰勃發に伴ふ資源の喪失に加へ、平時產業組織の戰時產業切換へが徹底せぬため國民生活の自由を擁護する議會が果して原案の通過を許すかは疑問である

ウイルキー モスコー着

【モスコー廿日同盟】ソ聯訪問中のルーズベルト特使ウエンデル・ウイルキーは廿日駐ソ米大使スタンドレーと同道空路モスコーに到着した、スターリン議長、モロトフ外務人民委員などソ聯首腦部と會談する筈である

マ島侵入の英軍

首都アンタナラーボに迫る

【ビシー廿一日同盟】マダガスカル島北西部から侵入、イギリス軍は目下首都アンタナラーボを距たるわづか八十粁の地點に進出した、よつてアンネ總督は同島南部の一都市に司令部を移轉し交戰を續けてゐる

佛首腦部協議

【チユーリツヒ特電】（廿日發）去る十日マダガスカル島東岸に上陸のイギリス軍はその後増援軍の到着によりフランス守…

ボルガ河畔の 波止場地帶を占領

獨軍一寸刻みの重壓

スターリン市攻略戰

【ベルリン特電】（廿日發）…の波止場地帶を占領した…

【ストックホルム特電】…

ソ聯軍を建物諸共に殲滅

【ベルリン特電】（廿日發）スターリングラード市…去る十六日以來…市の內外は…

殘敵掃蕩戰の段階へ

【ベルリン特電】（廿日發）…

全印、反英の坩堝化

各州に衝突、放火事件續出す

【ストックホルム二十日同盟】…

旱害對策を熟議

罹災道內務部長會議ひらく

食糧不安なし

岸糧政課長歸任談

駐土獨大使歸國

【ワイヤー二十日同盟】…

蔣軍愈よ窮す

物資の流入に死物狂ひ

共匪五百を捕捉

敵遺屍百餘、更に急追

岡村最高指揮官 第一線視察

南京の歡迎準備成る

全國地方衞生技術官打合會

永野、嶋田兩提督に伊勳章

汪主席、重光大使招待

印度の港灣に全面海軍基地に改正

伯、在留獨國人に…

久保田鴨電社長 …委員就任

親切運動と共勵制 總部 守太